



## 安全規約 2009-2010

1. 大会期間中、全ての選手に適切な資格を有する監督、コーチが付き添うこと
2. コーチは技術レベルの向上を計る以前に、個々の選手とチームとしての能力レベルを考慮し、演技全体のパフォーマンスレベルを決定する責務がある
3. 全てのチーム、監督、コーチは選手が負傷した場合の緊急対応策を立てておくこと
4. 練習やパフォーマンスの間、選手・コーチは、運動能力を高める物質・市販薬、安全な演技を妨げるようなアルコール、違法薬物などを摂取してはならない
5. 選手は適切な地面(マット上など)で練習および競技を行うこと
6. 競技者同士のダメージや安全性を考慮したシューズ(衝撃吸収力・足へのフィット感等)を使用すること  
ダンスシューズ、ブーツ、体操シューズ(またはそれに類するもの)は禁止
7. アクセサリーは禁止(ラインストーンを肌につける、耳・鼻・舌・へそ・顔のピアスや透明のプラスチックイヤリング、ブレスレット、ネックレス、衣装につけたピン等)  
(例外:医学 ID タグ/ブレスレットとユニフォームに付けたラインストーン)
8. 高さを出すためのいかなる道具の使用は禁止
9. 手具はフラッグ、バナー、サインボード、ポンポン、メガホン、カットした布のみ使用可  
棒状の手具は、スタンツやタンブリングの際には使用不可。全ての手具は安全に、演技の妨げにならないよう捨捨すること。視覚効果のために、意図して取りはずした衣装も手具とみなす。  
(スタンツ上から硬い素材のボードを放り投げることは違反)
10. 硬く、曲がらない、または表面に凹凸があるギプスは、適切な素材でカバーすること  
(注意:適切な素材で包むとは、選手自身と仲間の選手を怪我から守ることを意味する)
11. セーフティガイドラインの各 LEVEL の技術は、それ以下の LEVEL の技術を含む  
(例: LEVEL3 は、LEVEL1~2 のテクニックを行うことができる)
12. スタンツにおけるスポッターは、自チームのメンバー内ですべて行うこと  
(競技中の USA スポッターは最大 4 名配置される)
13. ひざ、尻、腿、正面や背中からの落下、およびジャンプ、スタンツまたは頭が下になった姿勢からのスプリッツ  
デismountは禁止。ただし、重心のほとんどが手または足にかかり、落下の衝撃を吸収できる状態の場合のみ認められる(シュシュノバは可)
14. 演技が始まる際、選手は片足、片手、または体の一部(髪以外)を演技フロアに触れていなくてはならない  
ただし、ベースの手が演技フロアに触れ静止した状態に限り、その手に両足を乗せることは可